

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【オン】地域ビジネス特講Ⅲ		
担当者(Instructors)	今瀬 政司	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
地域や社会には様々な課題・問題があり、それらの解決を目指して支援の活動やビジネスが行われている。この授業では、多様な地域課題・社会問題と支援活動・ビジネスについて、具体的な事例を交えて理論的かつ実践的に学ぶ。地域課題と支援では、災害救援・防災、町並み保全、環境保全、基地問題と地域経済、伝統工芸産業、農村・都市交流、観光等、社会問題と支援では、福祉・介護、知的財産権問題、雇用・労働問題、子ども支援、国際交流・協力等について学ぶ。併せて、時事問題・ニュースの読み取り方と活かし方の実践的ノウハウを学ぶ。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	実践的な学習に重点を置いて、授業テーマに関わる具体的な事例を多く取り上げて、知識・ノウハウを深める。特に、担当教員が実際に活動やビジネスに携わった事例、あるいは調査研究で関わった事例を主に取り上げることで、リアリティを持って理解できるようにする。事例学習は各回行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の内容・進め方・課題・成績評価方法等、地域課題と社会問題、支援活動とビジネス 等	□
第2回	地域課題と支援(1)：災害救援・防災	これまでの災害と救援活動（事例：阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震等）、防災・減災対策、企業等の事業継続計画（BCP）	□
第3回	地域課題と支援(2)：町並み保全	各地に残る古い町並みを保存し活かしたまちづくり、コミュニティ再生、商業・観光振興（事例：奈良町等）	□
第4回	地域課題と支援(3)：環境保全	地域の環境問題、環境保全・再生の活動とビジネス（事例：水俣市の水俣病と環境再生、豊島の産業廃棄物等）	□
第5回	地域課題と支援(4)：基地問題と地域経済	基地問題とまちづくりと地域経済活性化（事例：沖縄等）	□
第6回	地域課題と支援(5)：伝統工芸産業	古くから続く伝統工芸産業の現状と振興（事例：沖縄等）	□
第7回	地域課題と支援(6)：農村・都市交流	農山漁村・中山間地域の過疎問題、都市の過密問題、農村と都市間での交流・連携（事例：奈良県下北山村ツチノコ共和国等）	□
第8回	地域課題と支援(7)：観光	観光による地域活性化（事例：長崎市等）、観光の資源・施設・サービス・媒体等、観光関連産業、観光公害	□
第9回	前半授業の掘り下げと事例	前半の各回授業テーマに関する学びの掘り下げ、事例学習等	□
第10回	社会問題と支援(1)：福祉・介護	高齢者や障がい者の福祉・介護の現場で抱える課題、支援活動やビジネスの仕組み（事例：大阪等）	□
第11回	社会問題と支援(2)：知的財産権問題	活動・ビジネスにおける知的財産権（著作権、商標権、特許権等）問題（事例：NPO・ボランティア商標）	□
第12回	社会問題と支援(3)：雇用・労働問題	雇用・労働（正社員・非正社員・アルバイト等）の仕組み・ルール等、ハラスメント問題、奨学金返還、相談窓口・支援団体	□
第13回	社会問題と支援(4)：子ども支援	子育て問題、子どもの権利条約、子どもの居場所づくり、フリースクール、子育てビジネス	□
第14回	社会問題と支援(5)：国際交流・協力	国際協力を行うNGO、諸団体の国際交流事業、国際間の学び合いと相互支援、ビジネスの国際化	□
第15回	後半授業の掘り下げと事例	後半の各回授業テーマに関する学びの掘り下げ、事例学習等	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前に授業テーマに関する予習をしておき（１時間程度）、事後に授業での学びを整理すること（３時間程度）。授業中にしっかりとメモ（ノート）を取った上で、学んだことを自身の言葉でしっかり整理すること。学んだことを実社会での出来事と照らし合わせるとともに、そこから、自らの疑問や興味に応じて様々な手段で学びを深めること。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回の授業で少しずつレポート課題（授業での学びや考察等）を行うことで無理なく復習等を行い、学びの蓄積を行いやすくする。質問・意見等への回答等フィードバックは次回以降の他、電子メールや研究室等で柔軟に行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019地域ビジネスDP2	多様な地域課題・社会問題と支援活動・ビジネスを理論的かつ実践的に理解して具体的なイメージを持つことができる。
主体性	◇ 2019地域ビジネスDP3	時事問題・ニュースの読み取り方と活かし方の実践的ノウハウの基礎を理解して身につけることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
				100%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他：授業期間中のレポートで評価。毎回レポート提出をもって出席扱い。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	特にありません。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	テーマに関連した参考文献や実践的な活動情報等を必要に応じて授業中に紹介する。	
2		
3		
4		
5		